

# 三郷学で構想する まちづくりワークショップだより

第3号

平成22年  
10月29日発行

- ◆〒341-8501 埼玉県三郷市花和田 648 番地 1
- ◆電話：048-930-7763 / FAX：048-953-1169
- ◆ホームページ：http://www.city.misato.lg.jp/
- ◆三郷市 企画総務部 企画調整課

## 「第3回三郷学で構想するまちづくりワークショップ」を開催！

三郷市自治基本条例や第4次三郷市総合計画の内容を実現するための基盤づくりの政策として「三郷学」を位置づけています。10月1日（金）は、第3回目のまちづくりワークショップが開かれました。

### **ゆるやかな懇談 … ワークショップの開始前の時間に、なごやかに！**

まちづくりワークショップの開催の前に、午後0時30分から会場において、ワークショップに参加されている方や事務局職員で懇談を行いました。

懇談しているテーブルの周りには、前回の「三郷市のお宝」をテーマにワークショップで出た意見をもとに作成し、発表した各班の模造紙を貼ったボードを掲示するとともに、議論するグループと観察するグループが議論を検証したものも掲示しました。また、ワークショップ全体の流れのなかで、当日のワークショップがどこに位置付けられているのか説明した資料も一緒に掲示しました。

**はじめに**、市の事務局から、来年2月まで続くワークショップのねらいを説明しました。

来年2月まで続くこのワークショップでは、最終的に①政策形成ハンドブック案と②三郷学講座カリキュラム案を作ります。

本日は、前回参加者の希望をとって決定した、政策形成ハンドブック案を作成する班と三郷学講座カリキュラム案を作成する班に3班ずつ分かれ、それぞれのグループでファシリテータ、発表者を選出してもらい、意見をたくさん出してもらおうこと、最後に全ての参加者の前で発表してもらおうことを説明しました。



〈懇談するワークショップの参加者や事務局職員〉

次に、参加者の方に第1回、第2回とワークショップに参加してどのような感想をお持ちか、伺いました。

参加者からは、自己紹介の後、「とまどっている。住んでいる地域の中で、何かやりたいと考えているが、まだ三郷学とつながってこない。」「三郷に愛着はあるが、三郷のことをよく知らない。」「ワークショップは市が主体で行っていくのか。」などの感想や質問が出されました。

これらの意見に対し、全体を通じてお手伝いいただいている龍谷大学法学部の土山希美枝准教授からは、「自分自身でも地元をよく知らないと思う事があると思います。三郷学の趣旨は、いいものの再確認ですね」との説明がありました。

また、市の事務局からは、「三郷学は従来から行っている大切なまちづくりの輪を広げ、従来やってこなかったことで三郷のまちに必要なことを新たに始めることにつながる」との説明がありました。

少しずつ懇談に参加する人の数が増え、午後1時30分からのワークショップの開催までにぎわいました。



〈懇談するワークショップの参加者や事務局職員〉



### 用語解説

- ・ワークショップ ⇒ 参加者による付箋記入や対話・議論の作業。
- ・ファシリテータ ⇒ 対話・議論をしやすくする人
- ・カリキュラム ⇒ 学習過程、教育課程。

